

第22回

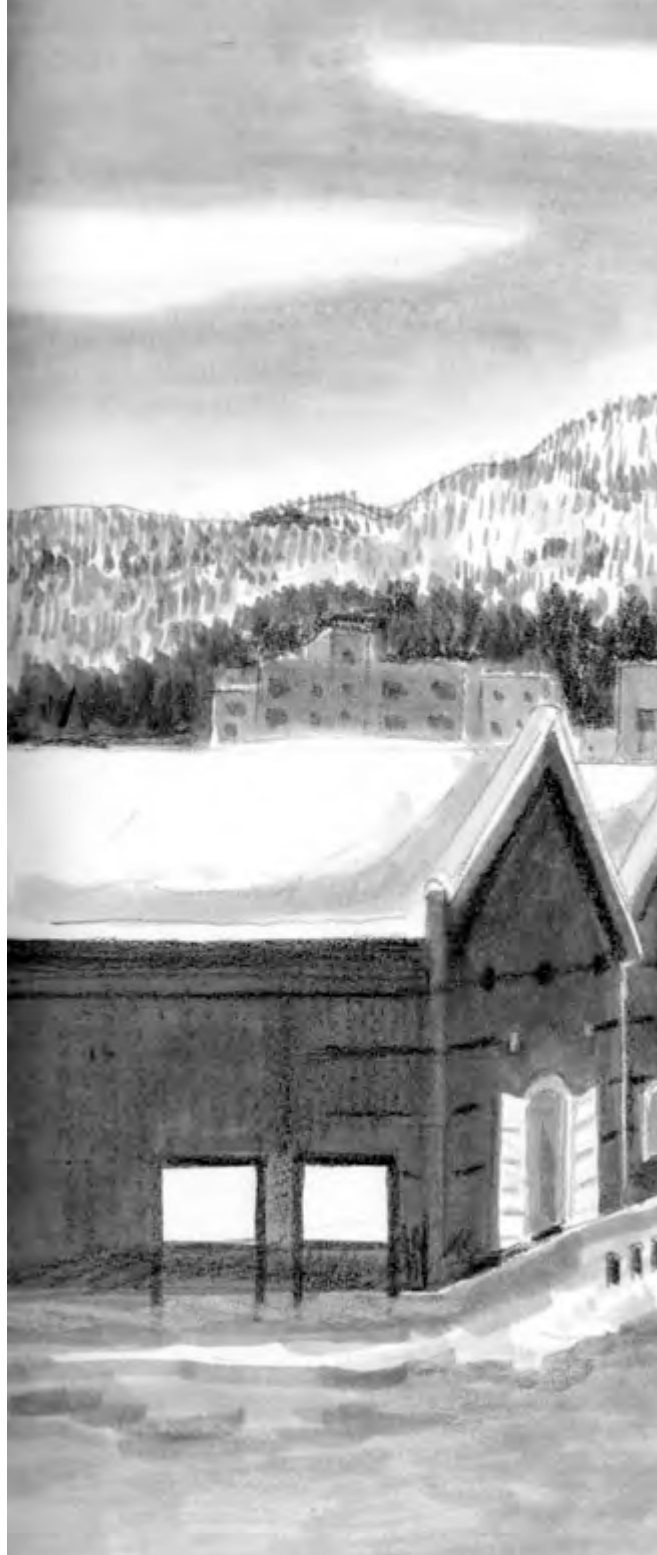
函館山、要塞の砲台跡と 貴重な自然が残る 北海道遺産

函館に来ると港町なのに山がそばにあって、なぜかほっとする気持ちになる。きっとそれは私が山育ちだからだろうか？函館の海に突き出すように行き止まりにある函館山は明治の頃に要塞となった。

付け焼き刃で歴史を見ると函館港と函館湾の守備のため日清戦争の頃に要塞が築かれたが、日露戦争をへて昭和のはじめにはその多くが解体された。津軽要塞へ吸収されたのだ。それから太平洋戦争後、米軍によってさらに解体されたとある。それでも残っていた跡地や施設などが、函館山の道路やロープウェイなどの建設に再利用され、現存している砲台などが残っている。昭和50年頃になり、残っていた施設が危険ということで立ち入り禁止となった。その間に在来種など野生生物が守られ、豊かな自然がそのまま残る地域にもなった。そして、この歴史をきちんと残すために、平成13年の北海道遺産への登録につながっていく。

ずいぶん前に路面電車で終着駅の谷地頭で降りたことがある。谷地頭の昔の建物を利用したお店の取材だったが、目の前に山が迫るその風景は忘れられない。ここに要塞司令部があったというのもうなずける。

そんな歴史を振りかえると、函館山は港と湾を守るため近代の戦争で翻弄^{ほんろう}されてきたけれど、現在はその歴史遺産と豊かな自然で、やはり函館の街と人を守っているように思う。自らも傷つきながら、それでも豊かな自然を宿して人を温かく迎えてくれている。函館山からの眺めは素晴らしい。「山は御神体であり、神様の座すところ」函館山を思うと、ふとそんな古代神話がふっと思い出されるのであった。



すずき もも

イラストレーター・絵本作家／スローフードさっぽろリーダー

東京生まれ、北海道夕張育ち。広告や雑誌、カレンダーなどのイラストを描くほか、イラストで綴る町案内の本や絵本などを執筆。ほか、「スローフードさっぽろ」を2016年に立ち上げ、食を中心に環境や暮らしの大事に取り組んでいる。著書に絵本「はるとなつ はたけのごちそうなーんだ？」（アリス館）「おいしい大地、北海道」（イースト・プレス）がある。近著に絵本「はたけのごちそうなーんだ？ くだもの」（アリス館）がある。モットーは4つのS。「Simple, Slow, Small, Smile: ささやかに、ゆっくり、ほどほどに、にこにここと」。



味の匠の
『いかすみまん』
中にはイカがゴロゴロ



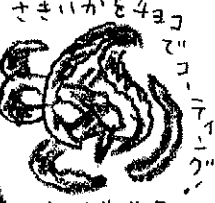
入っていて、皮は
イカミで黒い!

とてモ
リアル? な
すかた!

木印屋の
『いか
ようかん』
きゅうひ・コーヒ-
あん・ようかんの
三層でできてます!



さきいかを4ヨコ
で『コ・レ・イ・ク』



キングバークの
『イカ伯爵の
函館さきいか
4ヨコレート』

たのしい
のあかし
が『イカ』



どいもたべて
みたい!